

# チェロとマリンバと遊ぼう！

-5月28日-

5月28日(日)八丈町多目的ホール「おじゃれ」にて、あびの実第101回公演ファミリーコンサート「チェロとマリンバと遊ぼう！」を行いました。出演は「ゆき&チェロフレンズ」(小金沢有希:マリンバ、橋本勝郎・井上悟美:チェロ)の3名。

第101回目の公演は、新体制になった「新生あびの実」の公演です。演目だって、過去100回公演しながらもかつて一度もやったことない新鮮な、赤ちゃんから年配者まで、聴いて、さわって、一緒に演奏する「参加型コンサート」。そして、本当に、乳母車に乗ったり、抱っこひもにかかえられたりした赤ちゃんが参加。高齢者だってもちろん来ていて、チェロに触れてうれしそうでした。小さな子どもたち、お父さん、お母さん、ちょんこめの会員さん、そしてあびの実をずっと支えてくれている会員の方たち、総勢約120名の参加でコンサートが始まりました。

第1部は「聴いてみよう！」。マリンバのやさしく軽やかな響きに2台のチェロが寄り添う。チェロをはじくピチカート演奏、リズムカルで心地良い。“アンパンマンのマーチ”、“ドレミの歌”、チェロの名曲“白鳥”……。

第2部は「作ろう！さわってみよう！」。エーッ！この繊細な楽器に本当にさわられるの？ちっちゃい子がいじっても大丈夫なの？でも、本当にさわられました！だけではなく、たたいたり、はじいたり、弾いたりしていました。楽器も作りました。ゴミ箱とセロテープを使った太鼓を、みんな作れたね。

第3部「一緒にやってみよう！」。“幸せなら手をたたこう”、“マツケンサンバ”……手作り楽器があるし、演奏者の気心知れたし、チェロ・マリンバとも仲良くなったし、知っているリズムカルな曲ばかりだし、テンポは司会の振りが教えてくれるし、二人の助っ人さんも加わって、みんなノリノリで演奏に参加できたね。

今はネットを利用して、見たり、聴いたり手軽にできます。でも、「あびの実」は、ナマの舞台、演奏、それを子どもたちが親やお友達と一緒に見る、聴く、味わうことをめざしてきました。

これからも島に暮らすすべての子どもたちのために、素敵な舞台や島体験を提供していきます。



## 八丈島文化協会 会報 第44号

八丈町三根4869-1 八丈島文化協会事務局 Tel/Fax 2-2833  
HP: <http://www.8jobunka.jimdo.com/> e-Mail: [bunkakyoukai8jo@yahoo.co.jp](mailto:bunkakyoukai8jo@yahoo.co.jp)

2023年7月7日発行

### 第12回 総会、無事終了。 ありがとうございました！

八丈島文化協会会長 山下 和彦

八丈島文化協会第12回総会が、5月27日(土)10時から商工会研修室で開催されました。コロナあけの対面での総会は、2回目になります。

団体・個人会員45名のところ、出席16名、委任状22通で成立し、無事に終了しました。

会長として、初めに、皆様のコロナ禍の中での文化協会への協力、各々の活動に努力頂いている事にお礼を申し上げます。来賓には佐藤誠教育長に出席いただきご挨拶いただきました。

司会に峯尾明日香さん、議長に伊藤宏さんを選出し、議事に入りました。第1号議案から第5号議案まで全て承認されました。2022年度は、コロナ禍ではありましたが、予定したイベント等は縮小や変更はあったものの基本的に実施できたこと、JAZZフェスティバルが2022年度で終了したこと、新理事を2人迎えることができたことなどが報告されました。

意見交換の中で、文化協会の活動の方向性やありかた、予算や補助金のこと、おじゃれホールの管理委託の問題などが熱心に議論されました。

これもひとえに出席した皆様方の文化協会に対する思いの発露だったと考えます。

今年度も充実した活動ができる予感を感じた総会でした。今後とも引き続きのご支援・ご協力をお願いいたします。



### 7月~10月のイベント(協会主催・後援、加盟団体主催等)

※協会主催・後援、協会加盟団体の催しを中心に掲載しています。その他の催しは八丈島文化協会サイト内の「八丈島イベントカレンダー」をご参照ください。コロナの状況によっては、中止や変更があるかもしれません。

- ピティナ・ピアノ・スティップ 7月8日(土) おじゃれホール
- 八丈小島自然体験 7月29日(土) 自然っ子会員でないと参加できません。
- あびの実子ども映画会「長ぐつをはいたネコと9つの命」7月29日(土)2回上映 おじゃれホール
- あびの実演劇ワークショップ「劇世界への大冒険」7月30日(日)、8月6日(日)・20日(日)・26日(土)
- 富士見地区公会堂 ※ミニ発表会 8月27日(日)おじゃれホール
- 第84回島民大学講座 8月25日(金)・26日(土) 商工会研修室(町役場内)
- 第34回文化フェスティバル 10月15日(日) おじゃれホール

入場料:一般500円、高校生以下は無料

※第8回芸能文化祭は、9月24日(日)に予定していましたが、夢伝の実施がきまったため、3月10日(日)に延期します。



# 今年の夏休みは、ワクワクがいっぱい！

## 夏休み子ども映画会「長ぐつをはいたネコと9つの命」

「あびの実」ではこの夏、2023年春に公開されたばかりの話題作「長ぐつをはいたネコと9つの命」を上映します！

あの有名な童話の映画化？・・・ではなく、映画「シュレック」シリーズから飛び出した、帽子に羽飾り、マントと長ぐつがトレードマークの大人気の伝説レジェンドネコ「プス」の大冒険の物語です。

第95回アカデミー賞長編アニメ映画賞をはじめ数々の賞にノミネートされ、日本最大級の映画口込みサイトFilmmarks(フィルマークス)では初日満足度ランキング1位を獲得。そのクオリティは折り紙つきです。大人気の俳優たちが勢ぞろいした豪華日本語吹き替え声優陣にもご注目。

ストーリーは「長ぐつをはいたネコ」の童話とはまったく別物。ネコをはじめとする登場人物たちのキャラクターがとて魅力的で、子どもも大人も楽しめる冒険物語です。

動画配信サービスなどで映画が手軽に見られる時代ですが、映画館まで足を運んで大きなスクリーンで観るのは、自宅での鑑賞とはまた別のもの。

映画館はないけれど、島にはおじゃれホールがある！ということで、家族や友達と一緒に映画を楽しんでほしい、と企画しました。高校生以下のお子さんは無料ですので、ぜひ、ご覧いただければと思います。お誘いあわせの上、ご来場ください。

7月29日(土) 八丈町多目的ホール「おじゃれ」

14時/19時

(日本語吹き替え版 2回上映・104分)

※両回とも開場 30分前・150席

子ども(高校生以下)無料 大人 500円(あびの実会員無料)

※未就学児は大人と一緒にご覧ください。

チケット取扱店 八丈書房・周蔵商店・富次朗商店

主催:八丈島あそびと文化のNPO あびの実

共催:八丈島文化協会



## 第84回八丈島民大学講座

# 「土の力と海の技」

1980年8月「ともに学ぶ、地域に開かれた生涯学習の場」としてに開講した八丈島民大学講座は、84回を迎える2023年8月、東京都立大学から2人の先生方をお迎えして開催します。

太平洋上に浮かぶ八丈島は、東京都内でも有数の生産額を誇る農業地域です。地上を潤した雨は川となって海に入り、水産資源を育てます。島の暮らしを支える「土の力と海の技」を見直す講座はオンラインでも受講できます。ふるってご参加ください。

■ 日時 8月25日(金)・26日(土) 午後7時30分～9時(両日とも)

■ 会場 八丈町商工会研修室(町役場内) ■ 参加費 無料

■ 内容と講師

### 第1日「かけがえのない土壌がもつ生命をはぐくむ力」

都市環境学部 地理環境学科 川東正幸 教授 (環境・土壌学・食料生産)

「土壌には生産力があること、生命を養う力があることはよく知られていますが、その力の背景に絶妙な仕組みがあることはあまり知られていません。

土壌の地図を見る限り、八丈島の土はあまり肥沃ではなさそうです。しかし、八丈島が東京を代表する農業地域である背景には、きっと土壌の絶妙な仕組みが働いているはず。その生命をはぐくむ力についてお話ししたいと思います。」

### 第2日「縄文時代に八丈島へ渡った人々の知恵と技術」

山田昌久 名誉教授(考古学・生活技術史)

「800万年前に地球に登場した人類は、今確認できるところでは4万年前に日本列島に移り住みました。そして移動生活を切り替え、縄文時代に沢山の施設や道具を使う村生活を始めました。さらに縄文人は本州島から200kmもある八丈島にも移り住んでいます。講座では、丸木舟で黒潮を越えた縄文人のお話をしたいと思います。」

■ オンライン受講をご希望の方は、八丈島文化協会ホームページ「お問い合わせ」フォームからまたは八丈島文化協会事務局まで電子メールでご連絡を。

八丈島文化協会事務局 E-mail bunkakyukai8jo@yahoo.co.jp

電話 2-2833(月・火・木・金曜日9:30～11:30)

■ 主催:八丈島文化協会・東京都立大学 ■ 後援:八丈町教育委員会

■ お問い合わせ 八丈島民大学講座運営委員会 事務局 090-8036-1826

## 都民交響楽団 八丈島演奏会

-6月23日-

6月23日(金)、都民交響楽団の八丈島演奏会が開催され、コロナでずっと延期になっていたコンサートをやっと実施できました。指揮者と55人の団員が、当日船で八丈島入りし、午前はリハ、午後は島内の小3から中3の児童生徒向けの演奏会、夜は一般向けの演奏会、そして、ほとんどの団員が24日の船で離島されました。全くの強行軍でご苦労様だったと思います。

アマチュアとはいいいながら、個人負担をしながらの来島で、その質のよい音の響き・音量・ハーモニーに感動させられました。本当に音楽を愛していて、島の人たちに交響楽を楽しんでもらいたいと、心から思っているのだなあと、思われました。

本格的なオーケストラが島に来るのは、20数年ぶりになるかと思いますが、夜の一般向けのコンサートは大盛況で、満席状態。臨時的椅子を出したり、入場をお断りして帰っていただいた方もいました。島民の方々の音楽文化、交響曲コンサートに対する期待がこれほどまでにあるのかと思い知らされたものでした。文化協会としても、このようなイベントに協力できてよかったなあと、思っています。

毎年東京のどこかの島を回りたいということでしたので、数年後にまた八丈島に来ていただけるものと思いますが、今から期待したいと思います。

